

2004年度

Block 2 テュートリアル課題

課題番号 2

咳がとまらない



盗版で複写・複製・転載すると著作権侵害となることありますのでご注意ください。

TWMU Block 2 第一内科学 近藤 光子

課題名：咳がとまらない

課題番号：2004-B2-T1-2

シート1

北村春子さん（34歳）と会社の上司（50歳）との会話です。

上司「北村さん。趣味はジョギングでしたね。」

北村「ええ。でも、最近、ジョギングをするとすぐ息が苦しくなるんです。

酸素が吸いたくなるような感じで。」

上司「そういえば、よく咳をしているね。」

北村「1ヶ月前に風邪をひいてから、咳が止まらないんです。」

上司「残業が多かったし、無理をしない方が良いでしょう。」

抽出を期待する事項

1. 運動時には息苦しくなるのはなぜでしょう。
→健康な人でも激しい運動をすれば、息苦しくなりますね。
2. 呼吸はどのように行われているのでしょうか。
→呼吸のメカニズムと呼吸器系の構造を復習する。
3. 息苦しいとはどういうことでしょうか。
→呼吸困難の病態生理について勉強する。
4. 咳はどうしてでるのでしょう。咳はなぜ必要なのでしょうか。
→呼吸器系の生体防御機構、咳反射のメカニズムについて考える。

課題名：咳がとまらない

課題番号：2004-B2-T1-2

シート2

午前4時頃、北村さんは咳と息苦しさに目が覚めました。ぜいぜいし、苦しくて寝ていることができません。起きあがると呼吸が少し楽になりました。

抽出を期待する事項

1. 呼吸困難の発症のしかたや原因にはどのようなものがあるでしょう。
2. 喘鳴はなぜおきるのでしょうか。
→ 喘鳴の発症機序について考え、胸部の身体所見との対応を考える。
3. 起きあがると呼吸が楽になったのはなぜでしょう。
→ 起座呼吸の発症機序について学ぶ。

課題名：咳がとまらない

課題番号：2004-B2-T1-2

シート 3

北村さんは病院を受診し、診察とレントゲン検査、肺機能検査を受けました。
北村さんは、肺機能の検査は2回もさせられてきつかったけれど、2回目には
うまくできたと思いました。

抽出を期待する事項

1. レントゲン写真はなぜ撮られ、どのような所見だったのでしょうか。
→ 胸部 X 線と正常解剖とを対比し、病態との関連性について考える。
2. 肺機能検査は何をしたのでしょうか。なぜ、2回もやったのでしょうか。
→ 肺機能検査の意味を理解する。
スパイログラムの読み方、閉塞性換気障害と拘束性換気障害の鑑別
フローボリューム曲線の意味、病態との関連性について勉強する。

課題名：咳がとまらない

課題番号：2004-B2-T1-2

シート4

北村さんは朝方、また息苦しくなりました。歩くのがやっとなので、タクシーで救急外来を受診しました。

担当医は問診と診察をすばやく行い、北村さんの指先にモニターをつけ、また動脈から採血も行いました。

治療後、北村さんは空気が胸に入っていくのがわかり、呼吸が楽にできるということはこんなにありがたいことかと思いました。

抽出を期待する事項

1. 北村さんの呼吸困難の重症度はどうでしょうか。
→ 呼吸困難の重症度の評価法について学ぶ。
2. 指先のモニターはなぜ必要なのでしょう。動脈血ガス分析の結果はどのように解釈すればよいのでしょうか。
→ 動脈血ガス分析の結果を解釈し、パルスオキシメトリーの意義、低酸素血症や高二酸化酸素血症の発症機序について学ぶ。
3. どのような治療がおこなわれたのでしょうか。なぜ、楽になってきたのでしょうか。→ 気管支喘息発作の病態と治療について学ぶ。